

デザイン塾： タイムアクシスデザインが 社会にできること

去る2020年2月28日（金），慶應義塾大学 矢上キャンパス 創想館7階フォーラムにて「デザイン塾：タイムアクシスデザインが社会にできること」が開催されました。本活動は，デザイン塾，日本機械学会タイムアクシスデザイン研究会，日本デザイン学会タイムアクシス研究部会，日本設計工学会タイムアクシスデザインに関する研究調査分科会の共催にて行われました。

まずはじめに，株式会社SUBARUの樋渡穰技監 技術統括本部統合制御統括上級PGMより「SUBARUにおける製品開発事例について」というご講演をいただきました。その後，慶應義塾大学の小木哲朗教授・西村秀和教授・加藤健郎専任講師，首都大学東京の下村芳樹教授，早稲田大学の宮下朋之教授，東京大学の村上存教授・柳澤秀吉准教授が，それぞれ取り組んでいる研究についてご紹介されました。

続いて，慶應義塾大学の松岡由幸教授による「タイムアクシスデザイン」についての発表が行われました。その後，出席者全員によるディスカッションが行われました。

当日はデザイン研究に携わる研究者，実務者，学生など約15名の方にお集まりいただきました。活発な意見交換も行われ，大変有意義な場となりました。ご参加，ご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。



松岡教授による開会の挨拶



樋渡技監による発表の様子



松岡教授による発表の様子



出席者によるディスカッションの様子